S5004 USB ドライバーインストール手順
(Windows 10 & Windows 11)

目 次

1. Windows 10 (32bit) の場合 2
   1-1. USB ドライバーのインストール 2
   1-2. USB 仮想 COM ポートのインストール 5
   1-3. インストールの確認 8
2. Windows 10 (64bit) の場合 10
   2-1. 「ドライバー署名の強制」 10
3. Windows 11 の場合 12
   3-1. 「ドライバー署名の強制」 13

株式会社シマデン

MS5004-J92-B
2025 年 5 月

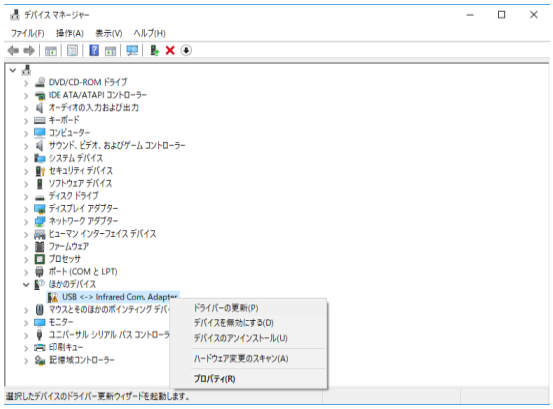
1. Windows 10 (32bit) の場合

1-1. USB ドライバーのインストール

お使いの PC 環境によってはインストールできない場合があります。その場合は
「2. Windows 10 (64bit) の場合」に従ってインストールを行ってください。

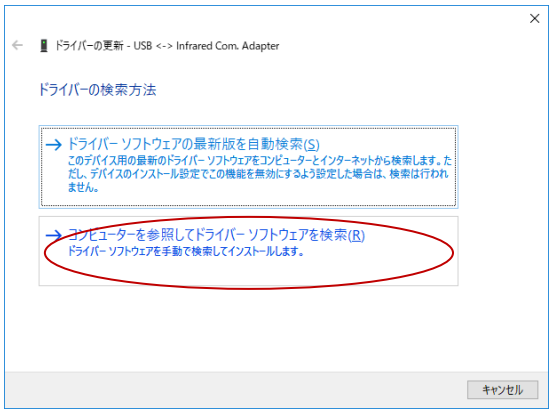
① S5004 をパソコンに接続します。
「スタート」ボタンを右クリックします。選択メニューから「デバイスマネージャー」をクリックし「デバイスマネージャー」を起動します。

②「デバイスマネージャー」画面が表示されます。



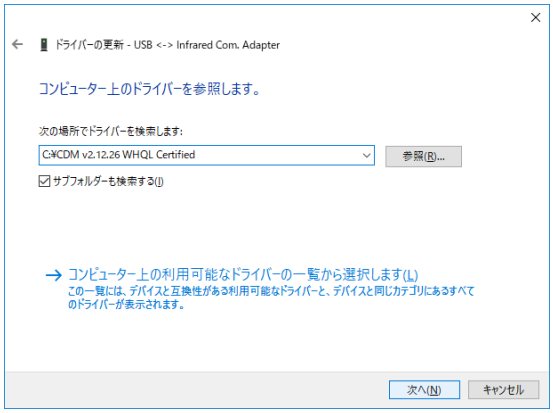
「デバイスマネージャー」の「ほかのデバイス」から「USB <-> Infrared Com. Adapter」を右クリックし選択メニューから「ドライバーの更新」をクリックします。

③「ドライバーの検索方法」画面が表示されます。



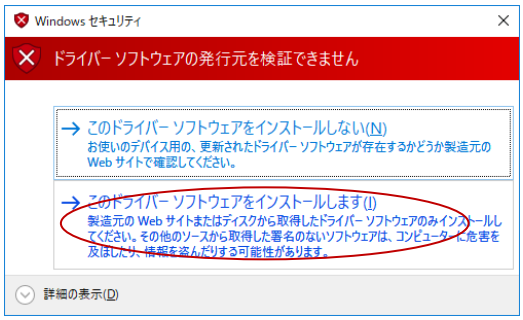
「コンピューターを参照してドライバーソフトウエアを検索」を指定し、次へ進みます。

④「コンピューター上のドライバーを参照します。」画面が表示されます。



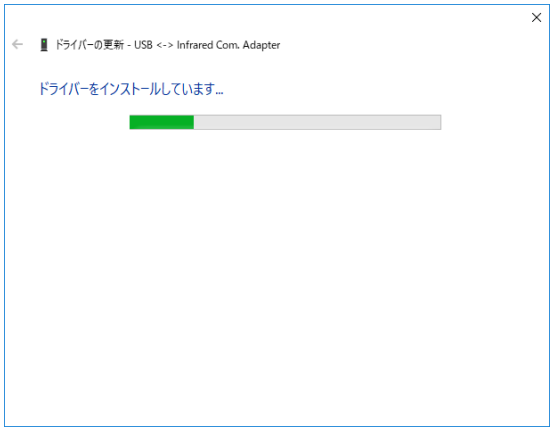
「次の場所でドライバーを検索します」にドライバーのあるフォルダを指定し、次へ進みます。

⑤「Windows セキュリティ」画面が表示されます。

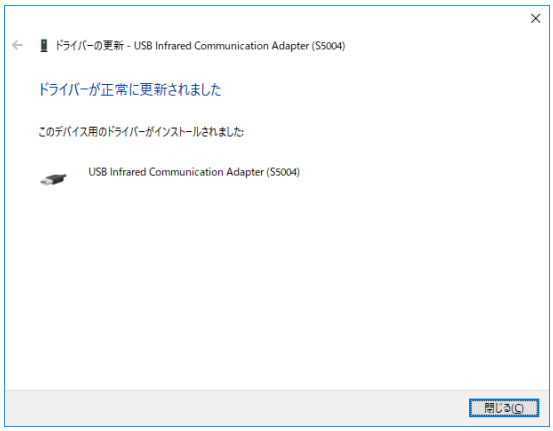


「このドライバーソフトウエアをインストールします」を指定し、次へ進みます。

⑥「ドライバーをインストールしています」画面が表示されます。



⑦「ドライバーが正常に更新されました」画面が表示されます。



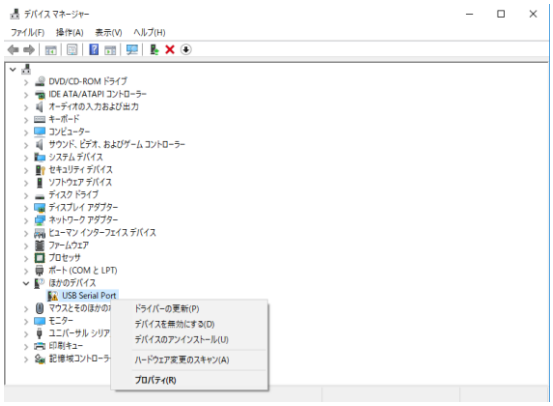
インストールの完了です。「閉じる」をクリックしてください。

引き続き、「USB 仮想 COM ポート」のインストールを行います。

1-2. USB 仮想 COM ポートのインストール

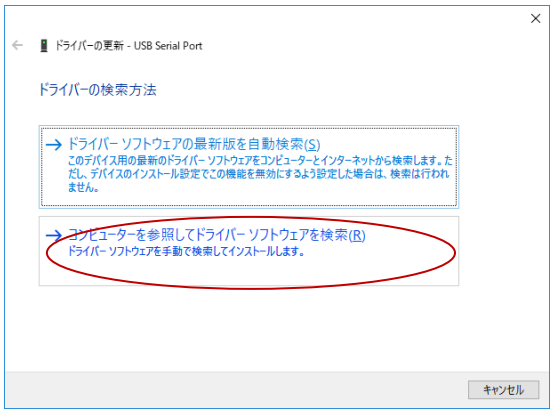
①「スタート」ボタンを右クリックします。選択メニューから「デバイスマネージャー」をクリックし「デバイスマネージャー」を起動します。

② 「デバイスマネージャー」画面が表示されます。



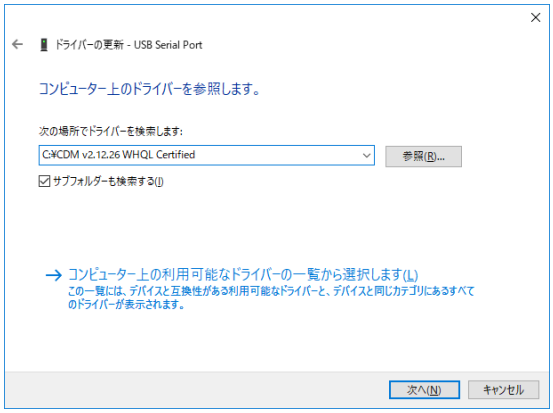
「デバイスマネージャー」の「ほかのデバイス」から「USB Serial Port」を右クリックし選択メニューから「ドライバーの更新」をクリックします。

③ 「ドライバーの検索方法」画面が表示されます。



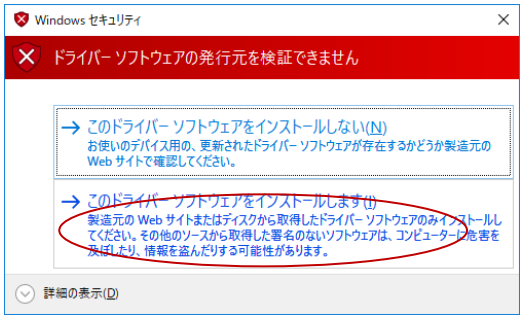
「コンピューターを参照してドライバーソフトウエアを検索」を指定し、次へ進みます。

④ 「コンピューター上のドライバーを参照します。」画面が表示されます。



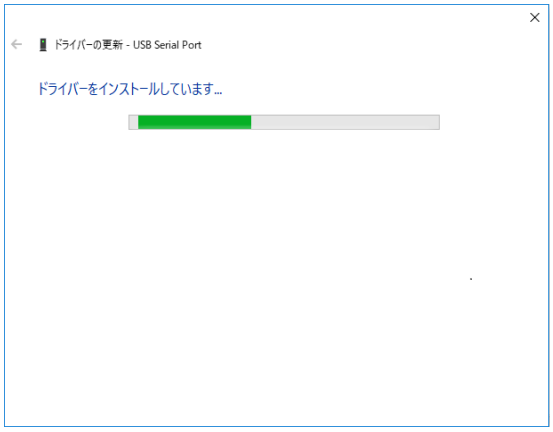
「次の場所でドライバーを検索します」にドライバーのあるフォルダを指定し、次へ進みます。

⑤ 「Windows セキュリティ」画面が表示されます。

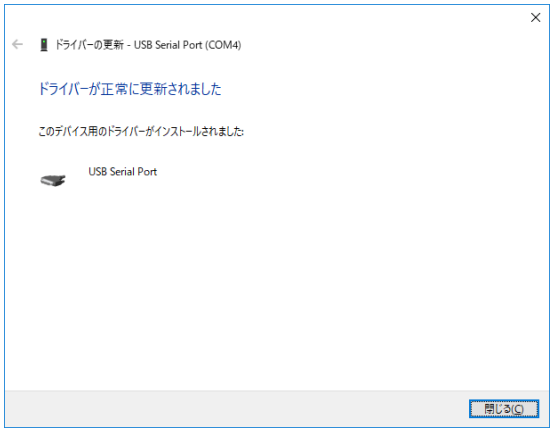


「このドライバーソフトウエアをインストールします」を指定し、次へ進みます。

⑥ 「ドライバーをインストールしています」画面が表示されます。



⑦ 「ドライバーが正常に更新されました」画面が表示されます。

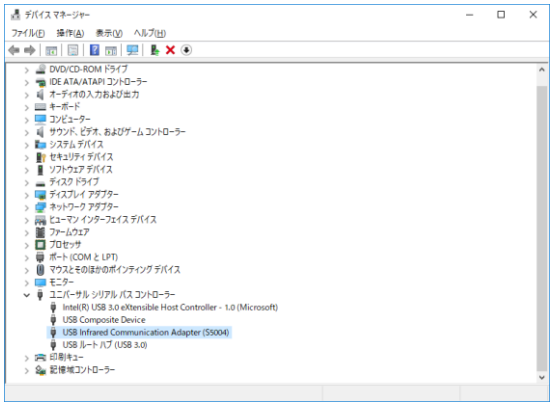


インストールの完了です。「閉じる」をクリックしてください。

1-3. インストールの確認

① 「スタート」ボタンを右クリックします。選択メニューから「デバイスマネージャー」をクリックし「デバイスマネージャー」を起動します。

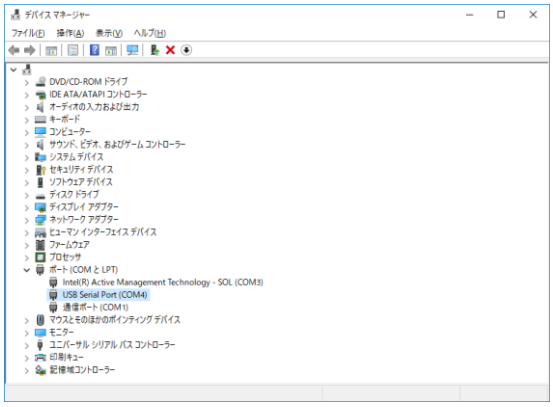
② 「デバイスマネージャー」画面が表示されます。



「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」の項目に「**USB Infrared Communication Adapter（S5004)**」が表示されていることを確認してください。

③ USB 仮想 COM ポート ドライバー

同様に、「ポート（COM と LPT）」の項目に「**USB Serial Port（COMx）**」が表示されていることを確認してください。（※ COM の番号はお使いのパソコンにより異なります。）



この画面の場合、通信ポートは COM4 になります。

※ USB Serial Port（COMx）行が複数ある場合があります。どれが S5004 のものかわからない場合は、「ポート（COM と LPT）」の各行を右クリックし、プロパティを選択して[全般]タブの「場所」欄に S5004 の名前が表示されているものが S5004 のシリアルポート（COM 番号）となります。

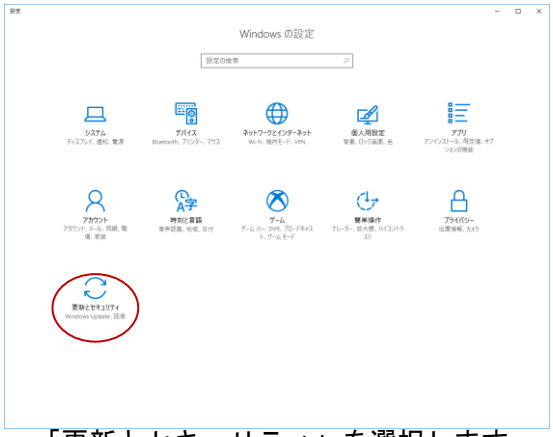
2. Windows 10 (64bit) の場合

Windows10 (64bit)は、セキュリティ強化によりデジタル署名されていないドライバーは通常の処理でインストールできません。以下の手順で「ドライバー署名の強制」を一時的に無効にしてからドライバーのインストールを行ってください。
「ドライバー署名の強制」の無効化後のインストール手順は、「1. Windows10 (32bit)」と同じになります。

2-1. 「ドライバー署名の強制」

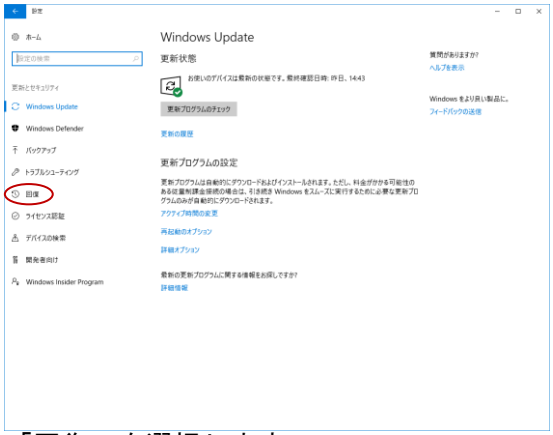
① スタートメニューから「設定」を選択します。

② 「設定」画面が表示されます。



「更新とセキュリティ」を選択します。

③ 「更新とセキュリティ」画面が表示されます。



「回復」を選択します。

④ 「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」を選択します。

⑤ 再起動後、「オプションの選択」が表示されますので「トラブルシューティング」を選択します。

⑥ 「トラブルシューティング」画面で「詳細オプション」を選択します。

⑦ 「詳細オプション」画面で「スタートアップ設定」を選択します。

⑧ 「スタートアップ設定」画面右下の「再起動」を選択して再起動を実行します。

⑨ 再起動後、「スタートアップ設定」画面が表示されますので「７」キーを押して「ドライバー署名の強制を無効にする」を選択します。

⑩ Windows10 が起動したら管理者権限でログインし「1. Windows10 (32bit)」の手順でインストールを行ってください。

3. Windows 11 の場合

Windows11 は、セキュリティ強化によりデジタル署名されていないドライバーは
通常の処理でインストールできません。以下の手順で「ドライバー署名の強制」を
一時的に無効にしてからドライバーのインストールを行ってください。
「ドライバー署名の強制」の無効化後のインストール手順は、「1. Windows10 (32bit)」と
同じになります。

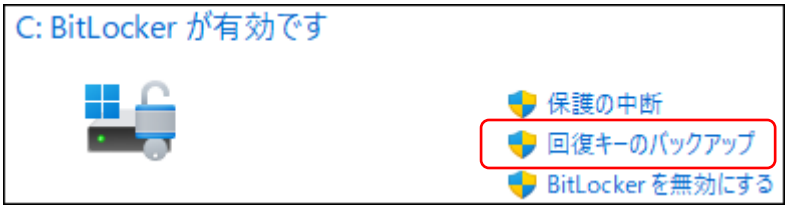
【ドライバーをインストールする前にご確認ください】
ドライバーをインストールするドライブ（HDD など）の BitLocker が有効になっている場合は、3-1.「ドライバー署名の強制」の作業中、「BitLocker 回復」画面にて回復キーを入力する必要があります。そのため、BitLocker が有効な場合は、インストールを行う前に BitLocker の回復キーを準備する必要があります。

１）インストールするドライブの BitLocker の状態を確認します。確認方法の一例として、エクスプローラーで「デバイスとドライブ」を開いた際に表示されるアイコン画像で判断する方法があります（下図参照）。

有効の場合　　無効の場合

エクスプローラーに表示される BitLocker の状態

２）BitLocker が有効な場合、回復キーを準備します。準備方法の一例は以下の通りです。インストールするドライブのアイコン画像を右クリックして表示されるメニューから「BitLocker の管理」を選択します。表示される「BitLocker ドライブ暗号化」画面から「回復キーのバックアップ」を選択します（下図赤枠参照）。以降、画面の指示に従い、回復キーをバックアップします。バックアップ完了後、バックアップした回復キーを印刷やメモを取るなどして準備します。



BitLocker や回復キーに関するお問い合わせは、Microsoft 社、ご使用のパソコンメーカーへお願いいたします。

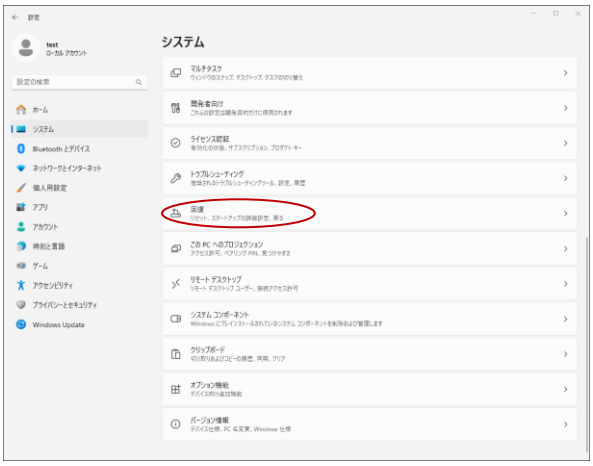
3-1. 「ドライバー署名の強制」

※ BitLocker が有効になっている場合、回復キーを準備してください。

① スタートメニューから「設定」を選択します。

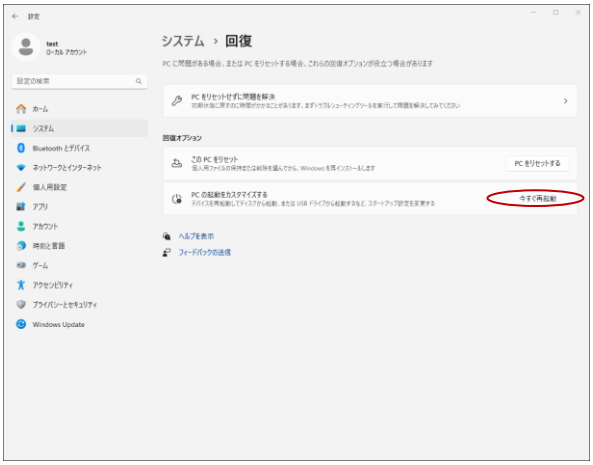
② 「システム」を選択します。

③ 「システム」画面が表示されます。



「回復」を選択します。

④ 「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」を選択します。



⑤ 再起動後、「オプションの選択」が表示されますので「トラブルシューティング」を選択します。

⑥ 「トラブルシューティング」画面で「詳細オプション」を選択します。

⑦ 「詳細オプション」画面で「スタートアップ設定」を選択します。

⑧ 「スタートアップ設定」画面右下の「再起動」を選択して再起動を実行します。

⑨ 「スタートアップ設定」画面が表示されますので「７」キーを押して
「ドライバー署名の強制を無効にする」を選択します。

※ BitLocker の画面が表示された場合、次画面の BitLocker 回復画面で
準備された回復キーの入力を行ってください。

⑩ Windows11 が起動したら管理者権限でログインし「1. Windows10 (32bit)」の手順でインストールを行ってください。